

教科		地理歴史		科目	地理B		単位数	3	学年・コース	1年 総合
教科書		『新詳地理B 初訂版』帝国書院 『新詳高等地理 初訂版』帝国書院 『新詳地理資料 COMPLETE 2017』帝国書院				担当者	萬田依子・坂巻主税			
概要・ねらい		全世界の地形や気候といった、自然に関する見方を知り、環境に対する関心や愛情などを育成する。地誌的な分野では、世界各地の特徴と問題点を学び、現代社会に生きる上での基本的な知識を養う。また、資料や写真を使い、理解を深めていく。								
年間授業計画	学期	配 当 時 間	学習内容				評価規準			
	一 学 期	15	第Ⅰ部 ささまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図				○地形の特徴と人間生活への影響について関心を高め、意欲的に取り組むとともに、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身に付けようとするか。 ○地形の特徴と人間生活への影響に関する地理的事象から課題を設定し、追究するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察しているか。 《1学期中間考査》			
			第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1節 世界の地形							
	一 学 期	15	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題				○気候の特徴と人間生活への影響について関心を高め、意欲的に取り組むとともに、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身に付けようとするか。 ○気候の特徴と人間生活への影響に関する地理的事象から課題を設定し、追究するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察しているか。 《1学期期末考査》			
			第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 2節 食糧問題 3節 世界のエネルギー・鉱山資源 4節 資源・エネルギー問題				○資源・エネルギー問題について、世界で起きている事柄を把握し、追究するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察しているか。 ○資源・エネルギー問題について、自国で課題となっている問題を取り上げ、原因と対策を理解し、知識を身に付けているか。 《2学期中間考査》			
	二 学 期	18	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 5節 世界の工業 6節 第3次産業 7節 世界を結ぶ交通通信 8節 現代世界の貿易と経済圏				○世界の産業について、各工業の特徴や変化、各産業が発達した背景を追究するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察しているか。 ○日本の工業およびその他の産業について、課題となっている問題を取り上げ、原因と対策を理解し、知識を身に付けているか。 ○世界を結ぶ交通の発達や貿易をめぐる問題について、その原因と対策を考察しているか。 《2学期期末考査》			
第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口、村落・都市				○世界で起きている様々な人口問題について、その原因を理解し、今後さらに起こりうる問題について考察しているか。 ○新旧の地形図を比較し、土地利用の変化や集落の発展の様子を読み取る技能を身に付けているか。 《学年末考査》						
履修上の注意		<p>・授業は必要に応じて板書したり、プリントなどを利用するので、必ず教科書・ノート・配布プリントなどを用意しておく。</p> <p>・教科書の資料・地図帳などを参照することになる。教科書・ノートなど必ず忘れない。</p> <p>※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>								
評価の観点の趣旨と評価方法										
各観点	関心・意欲・態度		思考・判断		資料活用の技能・表現力		知識・理解			
評価の観点	教科書・プリントなどの準備を怠らず、授業に出席し、その参加に意欲的であるか。		様々な事象に対する問題点をよく知り、自分の意見を持って発言することができるか。		教科書や資料などを活用して、物事をとらえることが出来るか。		世界のどの場所で、自然や人間がどのように生き、どのような問題を抱えているかを理解することができるか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出状況		●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出		●定期テスト ●授業への取り組む姿勢		●定期テスト ●課題等の提出			

教科	地理歴史	科目	地理A	単位数	2	学年・コース	1年 体育
教科書	『新詳地理B 初訂版』帝国書院 『新詳高等地図 初訂版』帝国書院 『新詳地理資料 COMPLETE 2017』帝国書院			担当者	萬田依子・坂巻主税・廣段和也		
概要・ねらい	全世界の地形や気候といった、自然に関する見方を知り、環境に対する関心や愛情などを育成する。地誌的な分野では、世界各地の特徴と問題点を学び、現代社会に生きる上での基本的な知識を養う。また、資料や写真を使い、理解を深めていく。						
年間授業計画	学期	配 当 時 間	学習内容	評価規準			
	一 学 期	10	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1節 世界の地形	○地形の特徴と人間生活への影響について関心を高め、意欲的に取り組むとともに、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身に付けようとするか。 ○地形の特徴と人間生活への影響に関する地理的事象から課題を設定し、追究するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察しているか。 《1学期中間考査》			
			第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題	○気候の特徴と人間生活への影響について関心を高め、意欲的に取り組むとともに、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身に付けようとするか。 ○気候の特徴と人間生活への影響に関する地理的事象から課題を設定し、追究するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察しているか。 《1学期期末考査》			
	二 学 期	12	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 2節 食糧問題 3節 世界のエネルギー・鉱山資源 4節 資源・エネルギー問題	○資源・エネルギー問題について、世界で起きている事柄を把握し、追究するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察しているか。 ○資源・エネルギー問題について、自国で課題となっている問題を取り上げ、原因と対策を理解し、知識を身に付けているか。 《2学期中間考査》			
			第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 5節 世界の工業 6節 第3次産業 7節 世界を結ぶ交通通信 8節 現代世界の貿易と経済圏	○世界の産業について、各工業の特徴や変化、各産業が発達した背景を追究するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察しているか。 ○日本の工業およびその他の産業について、課題となっている問題を取り上げ、原因と対策を理解し、知識を身に付けているか。 ○世界を結ぶ交通の発達や貿易をめぐる問題について、その原因と対策を考察しているか。 《2学期期末考査》			
	三 学 期	10	第Ⅱ部 現代世界の地理的考察 3章 人口、村落・都市	○世界で起きている様々な人口問題について、その原因を理解し、今後さらに起こりうる問題について考察しているか。 ○新旧の地形図を比較し、土地利用の変化や集落の発展の様子を読み取る技能を身に付けているか。 《学年末考査》			
履修上の注意	<p>・授業は必要に応じて板書したり、プリントなどを利用するので、必ず教科書・ノート・配布プリントなどを用意しておく。</p> <p>・教科書の資料・地図帳などを参照することになる。教科書・ノートなど必ず忘れない。</p> <p>※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	教科書・プリントなどの準備を怠らず、授業に出席し、その参加に意欲的であるか。	様々な事象に対する問題点をよく知り、自分の意見を持って発言することができるか。	教科書や資料などを活用して、物事をとらえることが出来るか。	世界のどの場所で、自然や人間がどのように生き、どのような問題を抱えているかを理解することができるか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢	●定期テスト ●課題等の提出			

教科	地理歴史		科目	世界史A	単位数	2	学年・コース	1年 アカデミック
教科書	『詳説世界史B』山川出版社 『アカデミア世界史』浜島書店			担当者	萬田 依子			
概要・ねらい	世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。また、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。							
年間授業計画	学期	時配 間当	学習内容	評価規準				
	一学期	10	第1章 オリентと地中海世界 1 古代オリент世界	○メソポタミア文明やエジプト文明など古代文明を学ぶことで、世界史への興味・関心を高める。 《1学期中間考査》				
		10	第1章 オリентと地中海世界 2 ギリシア世界	○エーゲ文明やフェニキア人により、オリент文明がギリシアに影響を与え、地中海世界が形成されたことを把握する。 《1学期期末考査》				
	二学期	13	第1章 オリентと地中海世界 3 ローマ世界 第2章 アジア・アメリカの古代文明 1 インドの古典文明	○都市国家ローマが地中海帝国を形成し、その文化が大きな影響を与えたことを理解する。 《2学期中間考査》				
		13	第2章 アジア・アメリカの古代文明 2 東南アジアの諸文明 3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明	○東南アジアにおける国家の形成過程を概観する。 ○日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を概観し、良世界の密接な関係に気づく。 《2学期期末考査》				
	三学期	12	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 1 草原の遊牧民とオアシスの定住民 2 北方民族の活動と中国の分裂 3 東アジア文化圏の形成	○東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源、遊牧国家の動向、東アジア諸民族の活動に触れる。 《学年末考査》				
履修上の注意								
<ul style="list-style-type: none"> ●授業は板書したりプリント等を利用します。 ●課題の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。 <p>※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>								
評価の観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度		思考・判断		資料活用の技能・表現力		知識・理解	
評価の観点	教科書・プリントなどの準備を怠らず、授業に出席し、その参加に意欲的であるか。		様々な事象に対する問題点をよく知り、自分の意見を持って発言することができるか。		教科書や資料などを活用して、物事をとらえることが出来るか。		世界のどの場所で、自然や人間がどのように生き、どのような問題を抱えているかを理解することができるか。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出 		<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出 		<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 		<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●課題等の提出 	

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2	学年・コース	1年 アカデミック	
教科書	『詳説 日本史B』山川出版社 『新詳 日本史』浜島書店		担当者	成澤 可奈子				
概要・ねらい	わが国の歴史の始まりと展開を世界的視野にたち総合的に考えさせ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を考え深めることにより歴史的な考えを養い、国際社会に生きる日本人としての資質を養い表現できることを育成する。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準				
	一学期	10	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立	●自然環境や大陸文化の影響、人類の共通点などに着目できたか。 ●なぜ稲作が始まったのか、大陸との関連、道具の発達国への発達などを理解しているか。 《1学期中間考査》				
		10	第1章 日本文化のあけぼの 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権	●大陸との関連、なぜ墳墓が出てきたのか、小国から国への発達が理解されているか。 《1学期期末考査》				
	二学期	13	第2章 律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家の成立	●大和政権の発展から国の基礎が出来上がっていく過程が理解されているか。 ●国の基本となる法の制定、大陸(隋・唐)との関係、民衆の生活が理解されているか。 《2学期中間考査》				
		13	第2章 律令国家の形成 3 平城京の時代 5 平安朝廷の形成	●律令国家建設の歩みが本格的に進められ、平城京の時代に古代国家を現出し、平安朝廷の形成までが理解されているか。 《2学期期末考査》				
	三学期	12	第2章 律令国家の形成 5 平安朝廷の形成 第3章 貴族政治と国風文化	●律令制度が大きくゆらぎ、土地制度の面では農民の成長がみられ、荘園・公領体制に切り替わり、政治の面では平安朝廷の形成過程が理解されているか。 《学年末考査》				
	履修上の注意							
	●授業は板書したりプリント等を利用するので、必ずノートを用意してください。 ●課題の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。 ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解				
評価の観点	我が国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野に立つて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジア・ヨーロッパの歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。				
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢	●定期テスト ●課題等の提出				

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2	学年・コース	2年 総合、体育
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説』タベストリー 帝国書院			担当者	岡田新平 齋藤翔太 村田克則 渡部翔太		
概要・ねらい	世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。範囲としては現代を中心に学び、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	第14章 二つの世界大戦 1 第一次世界大戦とロシア革命 ・バルカン半島の危機 ・第一次世界大戦の勃発 ・戦時外交と総力戦 ・ロシア革命 ・ソヴィエト政権と戦時共産主義・ネップとソ連の成立 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制	●第一次世界大戦の勃発とその影響、ロシア革命の発生とその影響について理解しているか。 ≪1学期中間考査≫			
		10	2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・国際協調と軍縮の進展 ・西欧諸国の停滞 ・イタリアのファシズム・東欧・バルカン諸国の動揺 ・ソ連の社会主義建設とアメリカ合衆国の繁栄 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 ・第一次世界大戦と東アジア ・日本の動きと東アジアの民族運動 ・国民党と共産党 ・南・西・東南アジアの動向	●ヨーロッパ及びアメリカ合衆国に第一次世界大戦が与えた影響について理解しているか。 ●アジア地域における第一次世界大戦が与えた影響について理解しているか。 ≪1学期期末考査≫			
	二学期	13	第14章 二つの世界大戦 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・世界恐慌とその影響 ・ニューディール政策とブロック経済 ・ナチスドイツとヴェルサイユ体制の崩壊 ・ソ連の五カ年計画とスターリン体制 5 第二次世界大戦 ・ナチスドイツの侵略と開戦 ・ヨーロッパ戦争 ・独ソ戦と太平洋戦争 ・ファシズム諸国の敗北	●沖縄修学旅行の事前学習として、第二次世界大戦に日本が参加し、敗戦国となったことを理解し、沖縄戦の意義について考えているか。 ≪2学期中間考査≫			
		13	第15章 冷戦と第三世界の独立 1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・戦後世界秩序の形成 ・米ソ冷戦の始まりと東西ヨーロッパの分断 ・中華人民共和国の成立と南北朝鮮 ・南・西・東南アジアの独立 2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・朝鮮戦争と軍拡競争の激化 ・アメリカ合衆国の「豊かな社会」化 ・西欧・日本経済の復興・ソ連の「雪どけ」	●米ソ冷戦の背景とそれにまつわる影響を理解しているか。 ●戦後のアジア・アフリカ諸国の状況を理解しているか。 ≪2学期期末考査≫			
三学期	12	3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ・第三世界の連携とアフリカ諸国の独立 ・ラテンアメリカ諸国とキューバ革命 ・米ソ両大国の動揺と平和共存への転換 ・ヨーロッパでの緊張緩和・中ソ対立と中国の動揺 ・ベトナム戦争とインドシナ半島 ・第三世界の開発独裁と南・東南アジアの自立化 4 石油危機と世界経済の再編 ・国際経済体制のいづまり ・途上国の工業化と冷戦の終結へ	●米ソ関係の変遷と周辺諸国の影響について理解しているか。 ≪学年末考査≫				
履修上の注意							
評価の観点 ●配布されたプリントを保管すること							
●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2	学年・コース	2年 総合, 体育	
教科書	『詳説 日本史B』山川出版社 『新詳 日本史』浜島書店			担当者	岡田新平 齋藤翔太 横溝孝雄 小針大輝			
概要・ねらい	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。							
年間授業計画	一学期	配当時間	学習内容			評価規準		
		10	第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化			●全国統一への過程が理解されているか。 ●桃山文化の特色である豪華さ、壮大さを具体例を基に把握できているか。 《1学期中間考査》		
	10	第6章 幕藩体制の確立 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造			●徳川家康が江戸幕府を開き、全国支配を実現した過程が捉えられたか。 ●将軍と大名によって土地と人民が統治される支配機構を理解しているか。 《1学期期末考査》			
	二学期	13	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化			●日本国内において幕府や諸藩が政治の安定化を目指して様々な政策を取り、秩序の確立をはかったことを理解しているか。 ●都市の経済的繁栄に着目し、諸産業の展開を考察できたか。 ●経済の発展に伴い町人文化が形成された過程を理解し、元禄文化について文学・学問・美術を踏まえて考察できたか。 《2学期中間考査》		
		13	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道			●幕府・諸般の経済的窮乏、一揆・打ちこわしの頻発に着目し、享保の改革や田沼時代の小政策の意義を考察できたか。 ●社会の変容に着目して、宝暦・天明期の学問の確立、共育機関の展開が捉えられたか。 ●列強の接近に伴う鎖国政策批判や失政を踏まえ、幕府衰退の過程が理解できたか。 《2学期期末考査》		
	三学期	12	第8章 幕藩体制の動揺 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱			●マニファクチュアなど近代の萌芽により諸般の財政再建から軍事産業確立に至る過程を理解できたか。 ●幕藩体制に批判的な学問・思想の起り、庶民教育機関の普及、出版文化の発達などから文化における近代の萌芽を見て取れたか。 ●条約締結および開港による社会情勢の変化に着目し、政局への影響を考察できたか。 《学年末考査》		
	履修上の注意							
	●配布されたプリントを保管すること ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
	評価の観点の趣旨と評価方法							
	各観点	関心・意欲・態度		思考・判断		資料活用の技能・表現力		知識・理解
	評価の観点	我が国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。		日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。		日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的対象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。		日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジア・ヨーロッパの歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
	評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出		●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出		●定期テスト ●授業への取り組む姿勢		●定期テスト ●課題等の提出

教科	地理歴史	科目	地理A	単位数	2	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	『新詳地理B』帝国書院 『新詳地理資料COMPLETE2018』帝国書院 『新詳高等地図』帝国書院			担当者	萬田 依子		
概要・ねらい	地理の基本を学び、地図の読解や世界の地形、気候といった自然に関する見方を知り、環境に対する関心や愛情などを育成する。地誌的な分野では、世界各地の特徴と問題点を学び、現代世界に生きる上での基本的な情報を学び、主体的に生きる力を養う。また、資料や写真を使い理解を深める。						
年間授業計画	学期	時配 間当	学習内容	評価規準			
	一学期	10	第I部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 1節 地図の発達 2節 地図の種類とその利用 3節 地理情報の地図化 2章 地図の活用と地域調査 1節 地図の活用	○地球がどのように形成されたかを理解する。 ○水の力による地表の影響から、私たちの生活に欠かせない大切なものであることを理解する。 《1学期中間考査》			
			第I部 さまざまな地図と地理的技能 2章 地図の活用と地域調査 2節 身近な地域の調査 第II部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 1節 世界の地形	○直接的に調査できる地域を、地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色をとらえる地理的技能を身に着ける。 《1学期期末考査》			
	二学期	13	第II部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴と人々の生活	○地球上のさまざまな気候を、区分して分かりやすく説明でき、現在地球上で様々な変化が起きている現象などを把握する。 ○地球上の存在する植生と土壌の種類とその分布を理解する。 《2学期中間考査》			
			第II部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 4節 環境問題 2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業	○世界の農作物・家畜の分布、また作物栽培の限界は地球上で環境との関連づける。 ○現在の農業の状況など、理解する。 《2学期期末考査》			
	三学期	12	第II部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 2節 食料問題 3節 世界のエネルギー・鉱山資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業	○資源の広がり、それを取り巻く問題点及び各国の対立を説明できる。 ○南北アメリカの国々の分布を地図上から理解する。 ○工業の発達と種類、工業の立地条件を調べ上げ、各国の経済格差とその影響を比較する。 ○日本の工業の世界との結びつきを関連付ける能力を高める。 《学年末考査》			
履修上の注意	<p>●授業は板書したりプリント等を利用します。</p> <p>●課題の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。</p> <p>※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	教科書・プリントなどの準備を怠らず、授業に出席し、その参加に意欲的であるか。	様々な事象に対する問題点をよく知り、自分の意見を持って発言することができるか。	教科書や資料などを活用して、物事をとらえることができるか。	世界のどの場所で、自然や人間がどのように生き、どのような問題を抱えているかを理解することができるか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢	●定期テスト ●課題等の提出			

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	4	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説』タペストリー 帝国書院			担当者	坂巻主税		
概要・ねらい	中世ヨーロッパから近代ヨーロッパにおける世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。また、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	20	第Ⅱ部 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	●西ヨーロッパ中世世界の成立過程を学び、現代の国々の原型が生まれ、また政治と宗教が密接に関わっていた事を理解することができるか。 ●西ヨーロッパにおいてどのようにして封建社会から中央集権化が促進されたかを理解することができるか。 《1学期中間考査》			
		20	第Ⅲ部 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	●大航海時代を学習することにより、日本も含めた全世界を考え、ルネサンスの資料を通して文化を理解することができるか。 ●絶対王政に至る各国の大きな流れを理解することができるか。 《1学期期末考査》			
	二学期	24	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	●重商主義を展開する中で絶対王政が隆盛し、それに対する反抗も生まれたことを理解できるか。 ●世界の覇権争いとその形成過程を理解することができるか。 《2学期中間考査》			
		24	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	●資本主義を確立した産業革命を理解できるか。 ●世界初の民主主義国家がどのように生まれたのかを理解できるか。 ●アメリカ独立革命が契機となったフランス革命によってもたらされた影響を理解することができるか。 《2学期期末考査》			
三学期	20	第11章 欧米における近代国民国家の発展	●ウィーン体制からの反動によるヨーロッパの大きな変遷と国際関係、アメリカ合衆国の発展過程を理解する事ができるか。 《学年末考査》				
履修上の注意							
●板書をしっかり写すこと ●配布されたプリントを保管すること ●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	山川出版社「詳説 改訂版 日本史B」			担当者	花本 隆		
概要・ねらい	わが国の歴史の始まりと展開を世界史的視野にたち総合的に考えさせ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を考え深めることにより歴史的な考えを養い、国際社会に生きる日本人としての資質を養い表現できることを育成する。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	18	第3章 貴族政治と国風文化 1 摂関政治 3 地方政治の展開と武士 第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭	律令制度が大きくゆらぎ、土地制度の面では農民の成長がみられ、荘園・公領体制に切りかわり、政治の面では平安朝廷の形成過程が理解されているか。			
		19	第4章 中世社会の成立 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退	《第1学期中間考査》 荘園支配の動向や武士の成長、文化の面で武士や庶民の生活が反映され始めたことに着目して、古代社会の変化の中に中世社会の萌芽が見られたことを考察できたか。 武家・公家・寺社などが権力を分有する多様性や地域的な差異に基づいて、中世の国家や社会がどのようなものであるか考えたか。 《第1学期期末考査》※マークシート対応のテストとなります。			
	二学期	20	第5章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 4 戦国大名の登場	鎌倉幕府と室町幕府の共通点と違いなどを理解しているか。 室町幕府が衰退していく展開と一揆の動きなどを理解しているか。 戦国大名の活動と支配のありかたが理解されているか。 《第2学期中間考査》 全国統一への過程が理解されているか。 鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できたか。 幕藩体制の特質について考察できたか。 初期外交から鎖国までの過程について、貿易統制と東アジアの動向を関連させて考察できたか。 《第2学期期末考査》※マークシート対応のテストとなります。			
21		第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 幕藩体制の成立 3 幕藩社会の構造					
三学期	26	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展	文治政治への転換から元禄時代・聖徳の治を取り上げ、幕政の安定過程を考察できたか。 農業技術の進歩に伴う農業生産の進展、産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都の発達に見える都市の経済的繁栄に着目して、諸産業の展開を考察できたか。 《学年末考査》※マークシート対応のテストとなります。				
履修上の注意							
授業は板書したり、プリント等を利用するので、必ずノート等を用意してください。また、課題等の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。							
評価の観点の趣旨と評価方法				※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する			
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	わが国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見だし、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的な事象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジア・ヨーロッパの歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。			
評価方法	授業への出席状況 授業への取り組む姿勢 課題等の提出状況	定期テスト 授業への取り組む姿勢 課題等の提出	定期テスト 授業への取り組む姿勢	定期テスト 小テスト 課題等の提出			

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	4	学年・コース	3年 総合文系,体育
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説 タベスリー』帝国書院			担当者	森田 大介・坂巻 主税・渡部 翔太		
概要・ねらい	世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。また、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	第1章 オリентと地中海世界 1 古代オリент世界 2 ギリシア世界	●メソポタミア文明やエジプト文明など古代文明を学ぶことで、世界史への興味・関心を高める。 ●エーゲ文明やフェニキア人により、オリент文明がギリシアに影響を与え、地中海世界が形成されたことを把握する 《1学期中間考査》			
		10	第1章 オリентと地中海世界 3 ローマ世界 第II部 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	●都市国家ローマが地中海帝国を形成し、その文化が大きな影響を与えたことを理解する ●西ヨーロッパ中世世界の成立過程を学び、現代の国々の原型が生まれ、また政治と宗教が密接に関わっていた事を理解することができるか。 ●西ヨーロッパにおいてどのようにして封建社会から中央集権化が促進されたかを理解することができるか。 《1学期期末考査》			
	二学期	12	第III部 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	●大航海時代を学習することにより、日本も含めた全世界を考え、ルネサンスの資料を通して文化を理解することができるか。 ●絶対王政に至る各国の大きな流れを理解することができるか。 ●重商主義を展開する中で絶対王政が隆盛し、それに対する反抗も生まれたことを理解できるか。 ●世界の覇権争いとその形成過程を理解することができるか。 《2学期中間考査》			
		24	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	●資本主義を確立した産業革命を理解できるか。 ●世界初の民主主義国家がどのように生まれたのかを理解できるか。 ●アメリカ独立革命が契機となったフランス革命によってもたらされた影響を理解することができるか。 《2学期期末考査》			
三学期			3学期は授業を行いません				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ●板書をしっかり写すこと ●配布されたプリントを保管すること ●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況 			

教科	地理歴史	科目	日本史	単位数	4	学年・コース	3年 総合文系・体育
教科書	『詳説 日本史B』山川出版 『新詳 日本史図説』浜島書店			担当者	成澤 可奈子・横溝 孝雄・小針 大輝		
概要・ねらい	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	20	第7章 幕藩体制の展開 3 元禄文化 第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化	●経済の発展に伴い町人文化が形成された過程を理解し、元禄文化について文学・学問・美術を踏まえて考察できたか。 ●幕府・諸般の経済的窮乏、一揆・打ちこわしの頻発に着目し、享保の改革や田沼時代の小政策の意義を考察できたか。 ●社会の変容に着目して、宝暦・天明期の学問の確立、共育機関の展開を捉えられたか。 《1学期中間考査》			
		20	第8章 幕藩体制の動揺 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱	●列強の接近に伴う鎖国政策批判や失政を踏まえ、幕府衰退の過程が理解できたか。 ●幕藩体制に批判的な学問・思想の起こり、庶民教育機関の普及、出版文化の発達などから文化における近代の萌芽を見て取れたか。 ●条約締結および開港による社会情勢の変化に着目し、政局への影響を考察できたか。 《1学期期末考査》			
	二学期	26	第9章 近代国家の成立 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係	●新政府の制度改革に着目して、明治政府が中央集権体制を構築していく過程を考察できたか。 ●明治初期の対外政策について、欧米諸国とアジア諸国への対応の差異を捉えられたか。 ●自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察できたか。 ●日露戦争の経緯・経過とそれに伴う日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を把握できたか。 《2学期中間考査》			
		26	第9章 近代国家の成立 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本	●日清日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を捉えられたか。 ●国民が主体的に創造した近代文化の特色を考察できたか。 ●第一次世界大戦前後の政治の動向を、政党内閣の成立や欧米・アジア諸国との関係を踏まえて考察できたか。 《2学期期末考査》			
三学期			3学期は授業を行いません				
履修上の注意							
●板書をしっかり写すこと		●配布されたプリントを保管すること					
●課題、宿題などにしっかり取り組むこと		●欠席、遅刻をしないこと		※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する			
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	わが国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野にたつて多面的・多角的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、興味ある情報を選択して活用することを通して歴史的な事柄を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察し過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジアやヨーロッパの歴史と比較しながら、どのように展開していくか追求し考え理解されているか判断する。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年・コース	3年 総合・体育
教科書	実教出版『最新 現代社会新訂版』・浜島書店『最新図説 現社』			担当者	廣段和也 村田克則 渡部翔太		
概要・ねらい	中学社会科で学んできたことをさらに深め、現代社会に関する経済的・政治的・倫理的認識を高めつつ、社会問題を自らの課題として考える力を養うことを目標とする。また、現代社会では心理学や哲学を手がかりに、自分自身について深く考える態度を養うことも目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	10	2. 現代の民主政治と日本国憲法 第2章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 自由に生きる権利 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権保障の広がり 8. 公共の福祉 9. 平和主義とわが国の安全 10. こんにちの防衛問題	●日本国憲法の成立背景や原理を理解し、人権保障に考えをめぐらせ、また、日本の防衛上の問題点などの対外的な視点を持つことができたか。 《1学期中間考査》			
		10	第3章 日本の政治機構と政治参加 1. 政治機構と国会 2. 行政権と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治 6. 選挙制度 7. 世論と政治参加	●日本の政治機構・政治参加について理解を深めることができたか。 ●選挙制度の変遷や政治参加の方法について学習を深め、自身が選挙権を持つことと関連させながら考えることができていますか。 《1学期期末考査》			
	二学期	12	3. 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 1. 経済主体と経済活動の意義 2. 経済社会の変容 3. 市場のしくみ 4. 市場の失敗 5. 現代の企業 6. 国民所得 7. 経済の成長と国民の福祉 8. 金融の役割 9. 日本銀行の役割 10. 財政の役割と租税 11. 日本の財政の課題	●経済活動の流れや市場のしくみなどを理解することができたか。 ●現代の企業や国民所得など、身近な問題について、積極的に学習し、理解することができたか。 《2学期中間考査》			
		12	第2章 日本経済の特質と国民生活 1. 戦後復興から高度経済成長へ 2. 安定成長からバブル経済へ 3. 日本経済の課題 4. 日本の中小企業 5. 日本の農業 6. 消費者問題 7. 公害の防止と環境保全 8. 労働問題と労働者の権利 9. こんにちの労働問題 10. 社会保障の役割 11. 社会保障制度の課題	●戦後復興から現代までの人々の生活の変化をつかみ、今日の社会問題に目を向け、理解し、自ら考えることができていますか。 ●労働問題や社会保障制度など、取り上げられることが多い問題について理解しているか。 《2学期期末考査》			
	三学期		3学期は授業を行いません				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は必要に応じて板書したり、プリントなどを利用するので、必ず教科書・ノート・配布プリントなどを用意しておくこと。 ・新聞・テレビなどのニュースなど、世界の情報・動きに関心を持つこと。 ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する 						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
評価の観点の趣旨	・現代社会の諸事情について関心を高め、意欲的に課題を追求したか	・社会の様々な事象を政治的・経済的側面にとらえ、課題を見出すことができたか	・学習した過程や結果をわかりやすくまとめ、表現することができたか ・資料を読み取り、課題に応じて利用することができたか	・現代社会を様々な角度から認識し、政治・経済・倫理・国際分野に関する知識を理解することができたか			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●課題等の提出	●定期テスト ●課題等の提出			

教科	公民	科目	政経倫理	単位数	3	学年・コース	3年 総合・体育/選択者
教科書	『高等学校 政治・経済』第一学習社 準拠 『最新図説 現社』浜島書店 準拠			担当者	成澤 可奈子・渡部 翔太		
概要・ねらい	中学社会科及び現代社会で培った知識をさらに深め、現代社会に関する経済的・政治的認識を高めつつ、社会問題を自らの課題として考える力を養うことを目標とする。また、倫理分野では心理学や哲学を手がかりに、高校生活が自分自身について深く考える態度を養うことも目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	15	第2部 現代の社会と人間 1 青年期と自己の形成 第1章 自分らしく生きる 第2章 人間として良く生きる	●心理学、哲学的側面から考察し、考える力を養う。また、他国と自国の宗教・思想を比較し、それぞれの事柄について理解する。 《1学期中間考査》			
		15	第3章 日本人としての自覚 2 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治	●哲学的側面から日本人としての自覚を養う。また、民主主義がどのようにして生まれ、我々ほどのような課題を持ち、政治に参加していくかを理解する。 《1学期期末考査》			
	二学期	18	4 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向	●国際社会の中に生きる我々の政治的立場や行うべき事を理解し、今日の国際政治の課題を考える。 《2学期中間考査》			
		18	第2章 国際経済の動向と国際協力	●国際社会の中に生きる我々の立場や行うべき事を経済的な側面から理解し、今日の国際社会の課題を考える。 《2学期期末考査》			
	三学期		3学期は授業を行いません				
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業は必要に応じて板書したり、プリントなどを利用するので、必ず教科書・ノート・配布プリントなどを用意しておくこと。 ・新聞・テレビなどのニュースなど、世界の情報・動きに関心を持つこと。 ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	現代社会の諸事情について関心を高め、意欲的に課題を追求したか。	社会の様々な事象を政治的・経済的側面にとらえ、課題を見出すことができたか。	学習した過程や結果をわかりやすくまとめ、表現することができたか。	現代社会を様々な角度から認識し、政治・経済・倫理・国際分野に関する知識が身に付いたか。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●課題等の提出 			

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	4	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説 タバストリー』帝国書院			担当者	森田 大介		
概要・ねらい	世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。また、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	20	第11章 欧米における近代国民国家の発展 1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3 南北アメリカの発展 4 19世紀欧米の文化	○ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。 ○クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編、イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程、ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解する。 《1学期中間考査》			
		20	第13章 帝国主義とアジアの民族運動 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動	○帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。 ○帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。 《1学期期末考査》			
	二学期	24	第14章 二つの世界大戦 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	○総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、アジア・アフリカの民族運動などを理解し、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。 《2学期中間考査》			
		24	第14章 二つの世界大戦 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦 総復習	○世界恐慌と資本主義の変容と第二次世界大戦に突入する流れを理解し、当時の国際社会の動きを考察させる。 ○総復習 《2学期期末考査》			
三学期	3学期は授業を行いません						
履修上の注意							
●板書をしっかり写すこと		●配布されたプリントを保管すること		※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する			
●課題、宿題などにしっかり取り組むこと		●欠席、遅刻をしないこと					
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	3	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説 タペストリー』帝国書院			担当者	廣段和也		
概要・ねらい	主にアジアとイスラーム世界の歴史を学ぶ。また、第二次世界大戦後の再編について注目し、戦後の世界の変容と発展について理解する。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	15	第2章 アジア・アメリカの古代文明 1 インドの古代文明 2 東南アジアの諸文明 第4章 イスラーム世界の形成と発展 1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4 イスラーム文明の発展	●南アジアの地理的特質を把握し、インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解できたか。 ●イスラーム世界の形成と発展にかかわる背景やその特質を理解し、その後のアラブ人によるイスラーム世界の拡大や帝国の形成や発展を理解できたか。 ●イスラーム世界の発展とともに形成してきた独自の文化を当時の社会背景とともに理解できたか。 《1学期中間考査》			
		15	第7章 アジア諸地域の繁栄 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展 第12章 アジア諸地域の動揺 1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	●トルコ・イラン地域に現れたイスラーム帝国の発展と衰退やその特質を理解できたか。 ●19世紀における欧米諸国の帝国主義とその狙いとなった南アジア・東南アジア・東アジアの動きを理解し、それぞれの特質を理解できたか。 《1学期期末考査》			
	二学期	18	第15章 冷戦と第三世界の独立 1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り 4 石油危機と世界経済の再編	●第二次世界大戦後、アメリカとソ連を中心とする冷戦がはじまり、東西両陣営に分裂したことを理解できるか。 ●朝鮮戦争などを経て、冷戦が激化するとともに西欧諸国や日本が経済復興に向かい、また「雪どけ」の始まりとともに台頭した第三世界によって経済が多極化したことを理解できるか。 ●石油危機による経済の破たんとその後の再編について流れを理解できるか。 《2学期中間考査》			
		18	第16章 現代の世界 1 社会主義の変容とグローバリゼーションの進展 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3 地域紛争の激化と深刻化する貧困 4 現代文明の諸特徴	●東欧諸国の社会主義の変容やソ連消滅、民族紛争を理解するとともに、グローバル化の発展を理解できるか。 ●途上国の民主化やアジア地域の社会主義国家の変容を理解できるか。 ●世界各国の紛争やテロなどや紛争解決や軍縮の試みを理解できたか。 ●現代の情報技術や科学技術の発展やそれらが抱える課題について理解できたか。 《2学期期末考査》			
三学期		3学期は授業を行いません					
履修上の注意							
●板書をしっかり写すこと ●配布されたプリントを保管すること ●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用	表現力	知識・理解		
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立つて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『詳説 日本史B』山川出版社 『新詳 日本史』浜島書店		担当者	萬田 依子			
概要・ねらい	わが国の歴史の始まりと展開を世界的視野にたち総合的に考えさせ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を考え深めることにより歴史的な考えを養い、国際社会に生きる日本人としての資質を養い表現できることを育成する。						
年間授業計画	学期	時配 間当	学習内容	評価規準			
	一 学 期	20	第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造	○織豊政権や江戸幕府によって中世とは異なる近世国家が成立していく過程や近世社会の特質について、世界の動向と関連させて考察する。 ○織豊政権期と江戸時代初期の文化の特色を、対外交流の動向や各地の都市の成長などと関連付けて考察する。 《1学期中間考査》			
		20	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化	○経済や文化が充実し社会が安定した時期から国際環境が変化し幕藩体制が動揺していく時期までを、大きな視点でとらえ考察する。 ○農業や手工業の進歩、全国規模での陸上・水上交通の発達や商品流通の活発化、貨幣の流通や金融制度の確立など、諸産業の発達と都市の経済的繁栄に気付く。 《1学期期末考査》			
	二 学 期	26	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	○幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目する。 ○近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色、その成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察する。 《2学期中間考査》			
		26	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達	○近代国家の形成過程を、社会や文化の特色に留意し、国際環境と関連付けて総合的に考察する。 ○開国後の我が国が国家的独立を維持しながら近代国家を形成していった過程とその水深の背景について着目する。 《2学期期末考査》			
三 学 期			3学期は授業を行いません				
履修上の注意							
●授業は板書したりプリント等を利用します。 ●課題の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。 ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用 の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	我が国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的対象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジア・ヨーロッパの歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢	●定期テスト ●課題等の提出			

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	3	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『詳説 日本史B』山川出版社 『新詳 日本史』浜島書店			担当者	萬田 依子		
概要・ねらい	わが国の歴史の始まりと展開を世界的視野にたち総合的に考えさせ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を考え深めることにより歴史的な考えを養い、国際社会に生きる日本人としての資質を養い表現できることを育成する。						
年間授業計画	学期	時配 間当	学習内容	評価規準			
	一学期	15	第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	○近代国家の展開過程を、社会や文化の成熟という観点から国際環境の変化と関連付けて総合的に考察させる。 ○国際社会における立場と対外政策をどのように変化させながら戦争に突入していったのかを、地理的条件とも絡めて多面的・多角的に考察し、時代の特色を大きくとらえる。 《1学期中間考査》			
			第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講話	○第二次世界大戦終結以降の我が国の動向を、政治的な視点を重視し国際環境と関連して考察する。 ○戦後改革の集約点である日本国憲法の特徴と成立の意義を認識する。 《1学期期末考査》			
	二学期	18	第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ	○戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目する。 ○経済復興の過程を、連合国の対日占領政策に着目して考察する。 《2学期中間考査》			
			第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の動揺	○異なる価値観や対立する立場の一方に偏しない客観性の高い資料に基づき、事実を正確に理解する。 ○歴史的諸事象の背景や意味を様々な立場から考察する。 《2学期期末考査》			
三学期			3学期は授業を行いません				
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ●授業は板書したりプリント等を利用します。 ●課題の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。 <p>※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	我が国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野に立つて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的な事象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジア・ヨーロッパの歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●課題等の提出 			

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年・コース	3年 アカデミック
教科書	実教出版『最新 現代社会新訂版』・浜島書店『最新図説 現社』			担当者	渡部翔太		
概要・ねらい	中学社会科で学んできたことをさらに深め、現代社会に関する経済的・政治的・倫理的認識を高めつつ、社会問題を自らの課題として考える力を養うことを目標とする。また、現代社会では心理学や哲学を手がかりに、自分自身について深く考える態度を養うことも目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	10	青年期と自己の形成 1. 自分らしく生きる 現代の民主政治と日本国憲法 1. 現代国家と民主政治	●青年期の特徴、課題を理解することができたか。 ●民主政治の成立背景や原理を理解し、現在の我が国の民主政治について考えを深めることができたか。 ●海外の政治制度の仕組みを理解することができたか。 《1学期中間考査》			
		10	2. 日本国憲法の基本的性格 3. 日本の政治機構と政治参加	●日本国憲法の成立背景や原理を理解し、人権保障に考えをめぐらせ、また、日本の防衛上の問題点などの対外的な視点を持つことができたか。 ●日本の政治機構・政治参加について理解を深めることができたか。 ●選挙制度の変遷や政治参加の方法について学習を深め、自身が選挙権を持つことと関連させながら考えることができていたか。 《1学期期末考査》			
	二学期	13	現代の経済社会と国民生活 1. 現代の経済社会 2. 日本経済復興の特質と国民生活	●経済活動の流れや市場のしくみなどを理解することができたか。 ●現代の企業や国民所得など、身近な問題について、積極的に学習し、理解することができたか。 ●戦後復興から現代までの人々の生活の変化をつかみ、今日の社会問題に目を向け、理解し、自ら考えることができていたか。 ●労働問題や社会保障制度など、取り上げられることが多い問題について理解しているか。 《2学期中間考査》			
		13	国際社会と人類の課題 1. 国際政治の動向 2. 国際経済の動向と国際協力	●国際政治の運営や現在の課題を理解し、そのことに対して自身の考えを表現することができたか。 ●国際経済の概要と仕組みを理解することができたか。 《2学期期末考査》			
三学期			3学期は授業を行いません				
履修上の注意	<p>・授業は必要に応じて板書したり、プリントなどを利用するので、必ず教科書・ノート・配布プリントなどを用意しておくこと。</p> <p>・新聞・テレビなどのニュースなど、世界の情報・動きに関心を持つこと。 ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
評価の観点の趣旨	・現代社会の諸事情について関心を高め、意欲的に課題を追求したか	・社会の様々な事象を政治的・経済的側面にとらえ、課題を見出すことができたか	・学習した過程や結果をわかりやすくまとめ、表現することができたか ・資料を読み取り、課題に応じて利用することができたか	・現代社会を様々な角度から認識し、政治・経済・倫理・国際分野に関する知識を理解することができたか			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●課題等の提出	●定期テスト ●課題等の提出			